

※各項目とも①が優先される。

- ①を満たした場合は②を、
①②を満たした場合は③を加えて評定する。

1. 意図が明確で分かりやすい発問

- ① 授業最初の発問が分かりやすく、活動しやすい。.....(3点)
② 無意図的で無駄な発問がない。.....(3点)
③ 複数の発問が意図を持って組み立てられている。.....(3点)

2. 明確で端的な作業指示

- ① 指示が端的で短い。.....(3点)
② 発問に作業指示を組み合わせることで子供の活動を促している。.....(3点)
③ 数種類の作業指示を使い分けている。.....(3点)

3. あたたかな表情 (笑顔)

- ① 授業の開始を笑顔で始めている。.....(1点)
② あたたかな笑顔を最後まで保持している。.....(1点)
③ 場面に応じて表情を豊かに使い分けている。.....(1点)

4. 適切な声の大きさとトーン

- ① 教室全体に通る声で授業をしている。.....(1点)
② 穏やかで温かい声のトーンで授業をしている。.....(1点)
③ 語尾の一語まで明晰に発音している。.....(1点)

5. 子どもへの目線 (子どもと目が合う)

- ① 全体へ話す際に、教室全体に目線を配り、一人一人に目を合わせている。.....(1点)
② 教師が教科書などを範読するような場合でも子供たちと目線を合わせようとしている。.....(1点)
③ 個別対応、児童の発言の際にも、全体に目配りを行っている。.....(1点)

6. 適切な立ち位置 (発問時や個別対応時)

- ① 教卓の前だけに留まっていない。逆に動きすぎてもいない。.....(1点)
② 大切な発問の時には体を止めて子供たちに向かっている。.....(1点)
③ 場面に応じて子どもの席に近づくなど適切な立ち位置をとっている。.....(1点)

7. 適切な動線 (机間指導時や個別対応時)

- ① 教室で子どもと教師が動きやすいように配慮している。.....(1点)
② 机間指導の動線にロジックがあり公平な動きをしている。.....(1点)
③ ノートを持ってこさせる時の子供たちの動きに配慮している。.....(1点)

8. 授業の心地よいスピード感 (空白、リズムやテンポ)

- ① 活動と活動を重ねるように指示をしている。.....(1点)
② 作業を早く終えた後、10秒以上も待たされている子供がほとんどいない。.....(1点)
③ どの子も集中して作業している。.....(1点)

9. 子どもへの対応 (非言語的な対応を含む)

- ① 授業中の褒め言葉が具体的で豊富である。.....(1点)
② 子供の予想外の発言にも「褒める」「切り返す」などの適切な言葉で対応できる。.....(1点)
③ 授業中に不規則な発言・行動をする子への適切な対応ができる。.....(1点)

10. 授業時間の遵守

- ① 時間通りに授業が終わる。.....(1点)
② 開始時刻と同時に授業が始まる。.....(1点)
③ 予定の授業進度を守ることができる。.....(1点)